

## 君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	本邦における院外心停止患者に対する Extracorporeal Cardiopulmonary Resuscitation (ECPR) に関する多施設後ろ向き観察研究 (SAVE-J II study) (倫理委員会承認番号: 494、543)
当院の研究責任者 (所属)	北村伸哉 (救命救急センター)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	香川大学大学院 医学系研究科 博士課程 兵庫県災害医療センター 救急部 井上明彦
本研究の目的	院外心停止に対して通常の救命処置を行っても心拍再開が困難な症例に対して、早期に人工心肺を導入して脳蘇生の鍵となる脳血流を早期に再開させ、循環サポートをしながら原因疾患を治療する、という人工心肺を組み合わせた心肺蘇生法 (Extracorporeal Cardiopulmonary Resuscitation: ECPR) が注目されています。ECPR では、救命率、神経学的転帰の改善が期待されていますが、いまだ不明な部分も多いです。この研究では、過去に ECPR が施行された患者様を対象としたデータベースを構築し、本邦での診療実態を明らかにし、生存率、神経学的転帰を調査し、ECPR の適応や転帰改善に寄与する因子を検討することを目的とします。
調査データの 該当期間	平成 25 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日
研究の方法 (対象となる方)	ECPR が施行された患さまで、平成 25 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日の間に、救命救急センター及び下記研究組織に来院・入院された方

<p>研究の方法 (使用する情報)</p>	<p>診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、病院前情報、来院時情報、治療時情報、補助循環、搬送等時間情報、体温管理、集中治療室入室後経過、転帰、など</p>
<p>資料・情報の他機関 への提供</p>	<p>患者さま個人が特定できない状態とし、電子システム及び郵送を使用して、香川大学及び兵庫県災害医療センターへ提供されます。</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>本研究で研究対象者から取得した個人情報は「匿名化され、どの研究対象者の試料・情報であるか直ちに判別できないように加工または管理されたもの」として扱います。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究は、救急災害医学講座の研究費（校費、奨学寄付金等）により実施します。本研究は、平成 31 年度の科研費基盤研究(C)(19K09419「本邦における院外心停止患者に対する ECPR に関する多施設後ろ向き観察研究」)の助成を受けたものです。体外式模型人工肺の企業からの資金や便益等の提供はなく、研究者が企業とは独立に計画し実施するものです。</p> <p>本研究の研究代表者および研究分担者には開示すべき利益相反はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>氏名：北村伸哉 所属：君津中央病院 救命救急センター 職名：救命救急センター長 連絡先：君津中央病院 救命救急センター 千葉県木更津市桜井 1010 TEL：0438-36-1071</p>
<p>備考</p>	